

④指標および目標

当連結会計年度における当社グループの重点課題に関する取り組みおよびその進捗状況は以下のとおりです。

●ESG全般における実績数値、実施内容

ESG視点	重点課題	2024年 実績	実施内容	2025年 目標
E (環境)	脱炭素社会の実現	サプライチェーン・マネジメント <エネルギー消費量の削減> 連結 233,136GJ 本社 0.71143MJ/m ² ・h 山口店 0.17760MJ/m ² ・h	・LED化の推進 ・本館8階催事場エアコンの更新 ・省エネ効率の高い揚水ポンプの更新 ・従業員一人ひとりの行動による省エネ	原単位当たり 1%削減
		<CO2排出量の削減> 連結 排出量 8,103 t 本社 5,739 t 山口店 2,364 t	・エネルギー消費量の実施内容を継続 ・再生可能エネルギー導入研究 ・スコープ3算出の研究	CO2排出量 1%削減
		<水使用量の削減> 連結 124,984m ³ 本社 0.000274954m ³ /m ² ・h 山口店0.000059819m ³ /m ² ・h	・従業員女子トイレ改修による節水機器の更新 ・本館、新館客用女子トイレの洋式化 ・従業員一人ひとりの行動による節水	原単位当たり 1%削減
		<廃棄物の削減> 連結 875,800kg 本社 7.919kg/m ² 山口店 7.340kg/m ²	・3R（発生抑制・再使用・再資源化）の徹底 ・食品ロス削減に係る生ごみリサイクルの研究	原単位当たり 1%削減
		<省資源（容器包装削減）の推進> 連結 紙製176,320kg プラ11,433kg 本社 紙製3.339kg/百万円 プラ0.205kg/百万円 山口店 紙製2.546kg/百万円 プラ0.250kg/百万円	・紙製手提袋有料化（2024年11月） ・ワンウェイプラスチック使用の合理化等 ・簡易包装の推進	原単位当たり 紙製1%削減 プラ現状維持
	サステナブルライフの推進	サステナブル商材・企画の提案	・エンカル消費、フェアトレード、アップサイクル等の新規商材開発・イベントの実施 ・植樹会の開催	年間8企画実施
S (社会)	地域活性化・賑わい創出	館内や公共空間を活用した企画提案	・産学官、ボランティア、市民活動及びNPO団体との連携、協働 ・地産地消への取り組み（きたきゅうコロンブスなど連携）	年間14企画実施
		地域商材の提案・情報発信		
	ワークライフバランスの充実	有給休暇取得の促進	・取得の促進と対象者モニタリングの実施 ・有給休暇取得に関する意識の浸透	従業員全員が年間6日以上を取得
		育児・介護制度の見直し	法改正に合わせた育児・介護制度の見直しを実現	新制度の運用状況の確認等
	ダイバーシティ&インクルージョン	<女性管理職の登用促進> 2024年度女性管理職割合 本社29.6% 山口店26.7%	・階層別研修の実施	35.0%以上
		<障がい者雇用の向上> 2024年度雇用率率 本社3.11% 山口店2.42%	・法定雇用率の達成	2.5%以上維持
外国人労働者雇用への対応		・外国人労働者の受け入れ準備を継続	—	
G (ガバナンス)	ガバナンス体制構築とリスクマネジメント	・ガバナンス体制の構築とリスクマネジメント対応の継続 ・コーポレートガバナンスに関する基本方針及び各原則の遵守の継続	—	

注) 1. E（環境）の数値については、連結は、使用量・排出量を記載しております。また、本社および山口店においては原単位で記載しております（本社には山口店以外の関連会社も含まれております）。

2. S（社会）の数値については、会社規程等が異なり、連結グループにおける把握が困難なため、主要な株式会社井筒屋（本社）と山口店に分けて記載しております。